

会 議 録

会議の名称	令和5年度第4回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時	令和6年2月7日（水）午後2時
開催場所	保健センター1階大会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	
会議結果	別紙のとおり
発言内容・ 発言者名（主な発言要旨）	別紙のとおり
提出資料	
その他	

令和5年度第4回小金井市食育推進会議 会議録

日 時 令和6年2月7日(水) 午後2時～午後3時15分

場 所 保健センター 2階 講堂

出席委員 12人

会 長 山 岸 博 美 委員

副会長 松 嶋 あおい 委員

委 員 牧 野 ま や 委員 雀 部 かおり 委員 太 田 篤 胤 委員

委 員 三 毛 明 人 委員 横 山 英 吏 子 委員 長 谷 川 郁 子 委員

委 員 井 上 正 子 委員 服 部 聡 委員 藤 澤 弘 委員

委 員 大 澤 秀 典 委員

欠席委員 4人

委 員 北 脇 理 恵 委員 高 橋 健 太 郎 委員 大 石 和 孝 委員

委 員 松 本 祐 子 委員

事務局職員

健康課長 伊 藤 崇

健康課係長 永 井 桂

健康課主任 近 藤 仁 美

健康課主事 高 橋 雄 大

傍 聴 者 0人

(午後2時 開会)

○事務局 皆さん、こんにちは。まだ委員が全員そろっていないところなんですけれども、定刻になりましたので始めさせていただきます。

お忙しいところ、本日は御出席いただきましてありがとうございます。委員改選後、初めての会議ということで、会長、副会長が空席でございますので、決定するまで司会を務めさせていただきます健康課長の伊藤と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、これより令和5年度第4回小金井市食育推進会議を開催させていただきます。

初めに、委員の出席状況と資料に関して、事務局のほうからお願いいたします。

○事務局 本日の委員の方々の出欠でございますが、松本委員、北脇委員から欠席の御連絡をいただいています。本日は、会長を除きまして13名の出席が予定されています。お見えになっていない方がいらっしゃるんですけども、過半数以上の出席となっておりますので、審議会として成立することを御報告いたします。

次に、配付資料の確認をいたします。本日、机上に配付させていただいたものとして、まず委嘱状、次第、名簿、第3回食育推進会議の会議録案。それから、2024年小金井市食育カレンダー、第4次小金井市食育推進計画（閲覧用）という表紙のもの、水色の冊子です。

お手元に資料のない方はいらっしゃいますでしょうか。大丈夫ですか。過不足等ございましたら、事務局のほうにお願いいたします。

また、第4次の計画の閲覧表は、お帰りの際、机の上に置いたままでお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

それでは、皆様には、小金井市食育推進条例に基づいて小金井市食育推進委員として委嘱させていただいています。皆様、御多忙の中、本市の食育推進のために御貢献いただけるということ、また、小金井市の食育の取組に当たりまして、委員の皆様の御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

本日、机上配付とさせていただいております委嘱状がありますとおり、皆様の任期につきましては令和6年2月1日から令和8年1月31日まで2年間ということになります。

それでは、皆様、委員長、副委員長の選出に先立ちまして簡単に自己紹介をお願いいたします。

○事務局 それでは、牧野委員からお願いします。

○牧野委員 牧野まやと申します。これで2期務めさせていただくことになります。前回この会議に参加しまして、食育ということでいろいろ多く学ぶことができ、とても楽しかったので今回も頑張りたいと思います。どうぞ皆さん、よろしくお願いいたします。

○雀部委員 雀部かおりです。今回2期目で、以前も3期6年、推進会議の委員を務めたことはあるんですが、自身の活動としては、長く食育の事業には携わっていますのと、自身でも料理教室など食に関しての仕事をずっとしております。どうぞよろしくお願いいたします。

○太田委員 公募市民の太田篤胤といいます。城西国際大学という千葉の九十九里の大学の薬学部で食

品機能学を教えている者です。私も雀部さんと同じように2期目に入ります。今、この会議で縁があって食育ホームページのお手伝いをさせていただいております。もうちょっと盛り上がらないかなと思っ
ているんですけど、どうぞよろしく願いいたします。

○三毛委員 三毛明人と申します。今回初めて食育推進会議委員ということで公募させていただきました。私は、今年、小金井市民になって34年目になるんですが、2年前に退職をするまでは、ほとんど夜、寝るだけの小金井市民だったんじゃないかということで、退職後、例えば国民健康保険に加入させていただいたりして小金井市とのつながりがより深くなってきて、それまで市報もあまり見ていなかったんですけども、市報を見ている中で食育という言葉がありましたので、私も40年間、某食品企業におりましたので、食ということについてはそれなりに関わってきたつもりではおります。今後、自分がこのまま小金井市に居続けるだろうなと思いますので、少しでも地域のことを知って、地域の方とコミュニケーションが取れるようにしていけたら、余生と言ってはまだいけないかもしれませんが、充実したものになるんじゃないかなと思って、非常に個人的な理由で参加させていただきますが、よろしく願いいたします。

○太田委員 私と同じですね、関係が。

○横山委員 公募市民の横山英恵子です。私は小金井市の公立の小学校と中学校に子供が在籍しています。3期目になります。仕事は東京学芸大学の附属学校で栄養教諭の仕事をしています。管理栄養士でもあります。特に子供の食育に興味があります。どうぞよろしく願いします。

○大澤委員 市役所の福祉保健部長をしております大澤と申します。よろしく願いいたします。

○服部委員 地元の小金井の歯科医師会代表で来ました。2期目に入ります。最初はどのような会議かなとあまり詳しく分からなかったんですけども、2年間務めさせていただいて、大まかどのような会議なのかということがつかめたと思います。とはいえ、あまり頼りになりませんが、これからも2年間、またよろしく願いいたします。

○藤澤委員 小金井商工会から来ています藤澤弘と申します。商工会の総務委員長をやっています、自分でも小金井市で33年ぐらい居酒屋を営業しています。今後ともどうぞよろしく願いします。

○井上委員 小金井市のシルバー人材センターに25年おまして、そこから社協のほうに参加して社協のほうで今理事をやっております。そこからこちらのほうに参加しております、小金井保育園卒業、第二小学校卒業、長いこと住んでいるので小金井のことはだいぶ分かるかと思ひます。何かのお役に立てればと思ひます。よろしくどうぞ。

○松嶋委員 松嶋あおいです。現在、雀部さんと太田さんと一緒に食育ホームページのほうにも参加させていただきます。考えてみると、かれこれ10年くらいになって、この推進委員も今は学識経験

者枠ですけれども、その前は市民公募委員ということで10年近く食育に関わってまいりました。現在、食育のほかに小金井市の農業委員が3期目にして、職務代理を務めさせていただいて、食と農というものが切り離せなく、小金井市の畑で生産される野菜を盛り上げることで小金井の食育に貢献したいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。

○山岸委員 山岸博美と申します。私も2期目になります。私は、横山委員のほうからこの会の御紹介を受けまして、今、このような立場でお話をさせていただいておりますが、本業は日野市にあります実践女子大学というところで管理栄養士を養成しております。管理栄養士といえますと、食育にも関わってきますので、この会で勉強させていただいたことを学生のほうにも日々教えている毎日でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○事務局 皆様、ありがとうございました。

続きまして、食育推進会議の事務局を務めさせていただきます福祉保健部健康課の職員を改めて紹介いたします。

私は、健康課長の伊藤と申します。よろしく願いいたします。

健康係、永井でございます。

○事務局 永井です。よろしく願います。

○事務局 健康係、近藤でございます。

○事務局 近藤です。よろしく願いいたします。

○事務局 健康係、高橋でございます。

○事務局 高橋です。よろしく願います。

○事務局 それでは、次に会長の選出に移りたいと思います。本会議の会長につきましては、引き続き山岸委員にお願いしたいと考えてございますが、皆様、それでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○事務局 ありがとうございます。

それでは、会長に山岸委員を選出させていただきます。

それでは、ここから司会を山岸委員にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○山岸会長 それでは、引き続き会長を務めさせていただきます山岸でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、私のほうから司会のほうを進めさせていただきます。

では、次に副会長の互選についてです。こちらも委員の中から互選によって定めることになっております。まず、ぜひという方がいらっしゃいましたらお声を上げていただければ幸いです、いかがでし

ようか。

それでしたら、引き続きですが、松嶋委員にお願いしたいと思いますが、松嶋委員でよろしければ、皆さん、挙手をお願いします。

(挙 手)

○山岸会長 それでは、賛成多数ということで、松嶋委員、どうぞよろしくお願いいたします。

○松嶋副会長 よろしくよろしくお願いいたします。

○山岸会長 先ほどもいただいたので、挨拶のほうはよろしいでしょうか。

○松嶋副会長 今後ともよろしくお願いいたします。

○山岸会長 よろしくよろしくお願いいたします。

それでは、会長、副会長の立場のほうからお話を進めさせていただきます。

それでは、先ほど意見・提案シートについてありましたけれども、提出等とか何かは大丈夫でしょうか。

○事務局 意見・提案シートの御提出はありませんでした。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、自己紹介も終わりましたし、議題のほうに移ってよろしいでしょうか。

それでは、議題のほうですが、食育コーディネータの選出になります。事務局のほうからお願いいたします。

○事務局 食育コーディネータは、小金井市内の食の情報について周知、広報活動を行い、食育活動について、何かお困りのことがあれば御相談に乗るという小金井市の食育を推進するに当たり情報連携の中心的役割を担う立場です。例えば、芋掘りのできる農家さんを紹介してほしいなどに対して仲介する役目となります。

食育コーディネータの任期は、食育推進会議委員の任期と同じ2年間のため、前は令和6年1月31日まで福祉保健部長がその役割を担いました。要望を受けてすぐ動くことができることから、福祉保健部長が毎回選出されてきました。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

事務局から説明がありましたけれども、質問のある方、いらっしゃいますでしょうか。もしいらっしゃらないようでしたら、今までどおり福祉保健部長の大澤委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、大澤委員、今期もよろしくお願いいたします。

○大澤委員 よろしくお願ひいたします。

○山岸会長 それでは、次の議題は進捗状況調査に対する食育関係課からの意見についてです。事務局のほうからよろしくお願ひいたします。

○事務局 第2回、第3回の会議で皆さんに進捗状況調査の結果について話し合っていました。この進捗状況調査の会議録を食育関係課に見ていただき、そこで意見があるかどうかというものを聞き取り調査いたします。

意見につきましては、第3回の会議録の中で、漢字の間違ひだったり、あまり調査結果に影響がないものは、こちらで既に第3回の会議録を訂正させていただきました。

唯一、ごみ対策課から、もう既に会議録になって掲載されているものなのですが、第2回の会議録の中で、フードドライブに市民が品物を持ち込んで、それを受け取るのはごみ対策課なのですが、そこでごみ対策課は、市民からどんな品物を何点ぐらい持ち込まれたかというのを全部調べています。その後、ごみ対策課が受け取った品物を社会福祉協議会へ引渡しをされます。引渡しをされた社会福祉協議会は、それを引き取りたいという皆さんにそこで配るわけですが、会議録の中では、ごみ対策課がこの数を周知しているかどうかというのがあったんですけども、そのお答えははっきりそこで答えられなかったもので、市民がどういうものを幾つ受け取ったかということは、社会福祉協議会のほうが行っているもので、ごみ対策については、その受取人数については把握していませんという、きちんとしたお返事をいただきました。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

要は、受け取る課とお渡しする課と違うので、なかなか数の把握が難しいということですね。ありがとうございます。

このことについて、どなたか意見のある方、いらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、次に第3回食育推進会議録案についてです。事務局のほうからお願ひいたします。

○事務局 前回の会議後、確認を全員にメールでお願いして、御自身の発言内容についても既に確認していただきました。今現在、新しい委員の方がお二人いらっしゃるんですけども、前に委員だった方についても確認していただいております。今回新しい委員方は前の会議は出ていらっしゃらないので、前回からいらっしゃる委員の方で、この会議録案でよい方は挙手をお願いしたいんですけども、1件、服部先生のほうからお預かりいただいているものが反映されていないので、その部分も反映して、会議録案から会議録にするということでよろしい方は、そのようにしていただきたいんですけども、ほかに何

かまだ訂正がありますという方はいらっしゃいますか。

○山岸会長 一度見ていただいたので、もしまた何かございましたら、会議が終わったときにでもよろしいでしょうか。ありがとうございます。

議事録案のほうは、こちらのほうでまた訂正をよろしく願いいたします。

それでは、次に食育ホームページ委員からの報告をお願いいたします。

○雀部委員 食育ホームページ編集委員の副編集長の雀部です。

皆さんの御手元にある小金井市の食育カレンダー、この中で食育ホームページが協力しているのは、毎月のレシピの部分です。こちらの角に載っていますレシピが、食育ホームページから抜粋されたものです。比較的、今回新しいレシピのほうを御紹介しているので、去年新しく出たものが結構中心になっています。あと、6月は小金井の食育月間なので、小金井市が押しているルバーブが毎年この位置に載るんですけど、今回はルバーブのマドレーヌということで、こちらのほうに掲載されています。旬の野菜を取上げていろいろレシピを展開しているので、よかったですら御覧になっていただければなというふうに思います。

あと、食育ホームページ自体としましては、前回から変わった動きとしては、小金井の野菜のレシピは、12月がカリフラワーと鶏肉のナッツいため、1月が大根とひき肉の和風カレーとなっております。おかげでも大活躍かなというレシピになっておりますので、よかったですら御覧ください。

それと同時に進めているものなんですけれども、日本の食文化ということで、食文化に関わるレシピを少しずつ、不定期ですけれども、上げることにしています。今回は、1月がありましたので、おせち料理のレシピを中心に上げていました。それ以外では、栄養成分表示活用クイズといって、こちら新しく、今回、委員になられた方にぜひ見ていただきたいんですけれども、身近な食材を取上げて、エネルギーなどで比較して、痩せたいとか、太りたいとか、各人に合ったニーズに応じた立場で、どちらを選べばいいかということを楽しみクイズ形式にして表示してありますので、よかったですら御覧ください。

以上になります。

○山岸会長 ありがとうございます。

今ほど雀部委員のお話について、質問等ある方、いらっしゃいますか。初めての委員の方もいらっしゃいますし、何か感想や今までの取組など、もしお伺いしたいことがあれば、ぜひこの機会に。

井上委員、お願いいたします。

○井上委員 ちょっと見ただけなんですけど、野菜を中心になっているので、高齢者の人にもかなり人気が出るのではないかと思います。高齢者はホームページを開いて料理を作るという事はなかなかやら

ないので、これだったらお宅に貼ってあればページをめくって作ることができるかというふうに思います。うれしく思いました。

○雀部委員 ありがとうございます。活用していただければ、うれしいです。

○井上委員 そうですね。

○山岸会長 ほか。横山委員、よろしく願いいたします。

○横山委員 お願いします。この食育カレンダーなんですけれども、これはどこかで配布していたり、もらえたりするのでしょうか。一般市民の人に。

○事務局 私が聞いた話だと、経済課さんで少し持っていらっしゃる、何部持っているか数は分からないんですけども、何部かありますのでということでした。うちにもそれを分けてもらえませんかという電話はあったんですけども、うちが発行しているのではなくて経済課さんのほうなので、経済課さんのほうに聞いたら、そういうお返事をいただきました。

○横山委員 たくさんの人が見るには、どこかで配布したり、何かないと、せっかくのが見れないなど思ったので。

○山岸会長 すいません、会長の私が言うのも。著作権のこともあるのでしょうか。例えばこのデータでホームページに載せるとか。よく印刷して、カレンダー、今出せるのもありますけれども、PDF化して、これを全部7月として載せるとか、何か難しいですかね。ペーパーレスと今言われている時代もあり、でも、やっぱり高齢者の方は紙であったほうがいいという、いろんな立場の方が幅広く……。

○井上委員 そうですね。できたら、もうちょっと大きく……。

○山岸会長 せっかくすてきなカレンダーなので、少しでもたくさんの方に見ていただけるといいなと思って。

○雀部委員 ホームページ自体の仕組みとして、私たちが手が加えられる部分と、技術的な問題で手が加えられない部分というのがありまして、PDF化して印刷できるような形に持っていけるかどうかというのも、その業者さんとか健康課とかとの話し合いになるので、ちょっと検討してみます。

○山岸会長 すいません、無理なことを急に申し上げてしまいました。

○松嶋副会長 このカレンダー自体は、小金井市の農業振興連合会というところが企画、発行しているものでして、JAのほうにも何部かあったかとは思いますが、レシピは、私たちが依頼を受けて、こちらのほうに提供させていただいているので、ちょっと別事業になるんですが、レシピだけでしたら、食育ホームページを見ていただくのが難しいとすれば、印刷して、前、こちらの保健センターのほうで配っていただいていた……。

○雀部委員 今ちょっとあれなんですけど、入口のところに小さいレシピを手にとって持って帰って

ただけるような形で置いてあった時期もあるので、印刷して、プリントアウトして、レシピのほうは可能だと思いますけど、ほかの権限もちよっと、ホームページとしては持っているわけではないので。

○松嶋副会長 食育カレンダーとなっているんですが、こちらのほうではない。

○井上委員 カレンダーと一緒になので、多分、紙のカレンダーを使うと思うので。

○雀部委員 そうですよ。分からないですね。

○松嶋副会長 私も作成に関わってはいるんですが、レシピのところに、たまにQRコードで食育ホームページに飛んでいただけるようにとかできたらうれしかったなど、今ちよっと思いました。

○山岸会長 QRコードで。

○松嶋副会長 ほかのレシピも知りたいわという方に、そういう御紹介があってもよかったのかなと思ひまして。来年の課題ということで、経済課のほうに相談したいと思ひます。

○山岸会長 ありがとうございます。

○事務局 うちのほうとしましても、健康課が発行しているものではないので、うちでどうにかというのはちよっとできないんですけども、このような御意見があったということは経済課のほうに会議録を通して見ていただいて、何かこちらで次の会議に御返事できるようなことがありましたら、そのときにお伝えしたいと思ひます。

○山岸会長 よろしくお願ひいたします。

○松嶋副会長 このバターナッツのところだけに、QRコードがついて……。

○雀部委員 それ、松島さんに付度したんじゃないですか。(笑)

○山岸会長 松嶋委員のレシピ。

○松嶋副会長 あるので、もしかしたら、最後に、このレシピ、もっと知りたいわという方は、ここ、検索しろみたいな、続きはウェブみたいな感じで。

○山岸会長 そうですね、12月はありますね。

○松嶋副会長 ありますので。意見を言う前でよかったです。気がついて。もっと目立つところがよかったですね。どこに飛ぶんでしょうかね。

○雀部委員 1個しか飛ばないようにできている。ホームページのホームの画面に飛んでとか、レシピのトップに飛んでいただければいいんですけど。

○松嶋副会長 なぜか。本当ですね、これ、バターナッツと……、謎です。ちよっと聞いてみます。

○山岸会長 ありがとうございます。

○三毛委員 すいません、ちよっと1点いいですか。

○山岸会長 お願ひいたします。

○三毛委員 初めてこれを見たんで、ちょっとびっくりしたんですけども、このタイトル、2024小金井市食育カレンダーと書いてあるということは、これは毎年つくっておられたんですか。

○松嶋副会長 はい、毎年つくっています。

○三毛委員 あ、そうだったんですね。全然知らなかった。

○松嶋副会長 絵画コンクールというのが農業祭、今年は産業祭だったんですけど、毎年小学生から絵を提供してもらって、JAのほうの方が審査をして、農業祭のほうで表彰式も行っておりまして、カレンダーはもちろん出品した方には配られているかと思うんですが。

○三毛委員 カレンダーの横の、今お話が上がっていたレシピの部分に関しては、これは年によってこの何か特集というか、レシピじゃない年もあったということですか。

○雀部委員 ずっとレシピなんですけど、メニューは変わってきます。

○三毛委員 ここはレシピという、立てつけは変わらずにということなんですね。

○松嶋副会長 そうですね。旬のその時期に一番よく見かける野菜のレシピを充てているということになります。

○三毛委員 そういうことなんですね。分かりました。

○山岸会長 子供たちの絵もすばらしいので、より多くの人に来てもらえるように、ちょっと何か工夫を私たちのほうでできることがあれば。

○井上委員 楽しいですね、これを見ているだけでも。

○松嶋副会長 270点くらいの絵が出品されているようで、去年、ちょっと選考を見せていただいたんですけど、すごほどの絵もすばらしくて選ぶのが大変のような状況になっています。

○山岸会長 ありがとうございます。

ほかはいかがですか。

○藤澤委員 QRコードは、単品にしか飛ばないんですね。全体的には飛ばないんですね。そこに小文字で小さく書いてあるところにしか飛ばないですね。

○松嶋副会長 気が利いているのか利かないのか、よく分からない。(笑)

○藤澤委員 逆に言ったら、全体的なメニューが見れば。別にほかのメニューも見れば、うれしいんじゃないかなと思うんですけど。

○雀部委員 そうですね。100以上レシピはもうホームページに掲載してあるので。

○藤澤委員 ただ、そこまで飛んでくれないですね。

○雀部委員 そうですね。

○藤澤委員 だから、それを飛んでくれるようにすると、ほかの人もうちょっと、逆に言って、携帯

とかで、今はWi-Fiとかありますから、携帯とあれすると自動的にそのレシピがプリントアウトできるから、そういうシステムを組んでやったほうが、どうせやるならそのほうが。そうすると、表面に1枚QRコードを貼りつける。いいんじゃないかなと思います。

○雀部委員 今回、初めてQRコードがついたのも、私、今見て。こちらも、そういうお願いも一度も、依頼もされたこともなく、お願いもしたこともなかったんですけど、これからつけていただいたほうがいいかもしれないですね。

○藤澤委員 ただ、これは開発者が多分、そのQRコードのレシピをこちらに持ち込んでいると思いますよ。そのメニューのレシピを。

○雀部委員 いきさつ分かります？ QRコード。なぜ松嶋さんについたかという。

○松嶋副会長 分かりません。このレシピ、スープのレシピも……。

○藤澤委員 じゃ、業者が勝手につけたものじゃなくて……。

○松嶋副会長 業者というか、農業委員会の事務局の方になるかと思います。原稿をチェックは私もしているんですけど、全体的に見てはいなかったんで、でき上がりを。今回はでき上がりを見せてもらって……。

○雀部委員 見せてもらってないです。

○松嶋副会長 去年、おととしと2人で結構細かく見て、誤字脱字までしたんですけど。

○雀部委員 確認はしたんですけど、今年は品物ができ上がってきて。

○松嶋副会長 今年はまだ時間もないということで、このレシピ、何月のレシピは何というふうはこちらのほうで指定して、1月は、例えば豚肉にしてくださいというリストをお渡ただけで、確認することはかなわなかったんで、このQRコードがついた……。

○雀部委員 今後つけてもらいたいというふうに希望を出すことは多分できると思うんで。

○松嶋副会長 そうですね、来年以降。

○藤澤委員 そうですね。これ以降だけじゃなくて、全体的につけようと思ったら、つけられますね。

○松嶋副会長 ほかのレシピはこちらという形で、できるならやっていただければいいですよ。

○山岸会長 貴重な御意見、ありがとうございます。全てここに、もう内定の話をして、予算のこともあります。ここに例えばレシピのホームページ、こちらというふうにはQRコードをつけて、せっかくホームページ、いろいろと工夫を凝らしていらっしゃるんで、そちらに飛ぶようになれば、また閲覧数も増えていいのではないかなと思いましたので、また、ぜひ意見を反映させていただければと。

○太田委員 成人式のときに配ったチラシは、あれはトップページでしたよね。QRコード。

○雀部委員 成人式のチラシ、トップページですね、このQRコード。

○太田委員 それを入れてもらえばいいわけですね。

○雀部委員 そうですね。前回、初めての方はあれなんですけど、これが食育ホームページのチラシで、これ、前回、成人式のときに全員に、成人の方に配ったんですけど、こちらはトップページに飛ぶようには、こちらで作成したもので、トップページに飛ぶようにはなっています。

○山岸会長 ぜひカレンダーのほうも、またよりよく、多くの方に見ていただけるようにしていきたいなと思っております。ありがとうございます。

それでは、次のほうに移りたいと思います。次は、井上委員より、高齢者の孤食についてのお話をさせていただくということで、よろしく願いいたします。

○井上委員 前回、子供食堂のことについて大分お話ししたことがありましたが、そのときに私の周りの人から、私はシルバー人材センターの人間なので、高齢者の孤食についてちょっと調べてみたらという話がありました、それで社協のほうにお邪魔して話を聞いてみました。

認知症カフェというのを今あちこちでやっているんですけど、認知症カフェにも参加して、高齢者の方から、いろんな人から話を聞いてみました、より多くの高齢者の方と食事についての話をしたいと思いきまして、コスモスの会というのが、社協がやっているふれあい・いきいきサロンというグループに登録されているので、コスモスの会の活動日にお邪魔して、上之原会館でやっていたので、訪問して、一緒に活動して、話を聞いてきました。

出席者の人は女性が5人だったんですけど、プリントを見ながら、口の体操とか、早口言葉などをみんなできたり、それから太陽病院から理学療法士さんが2人見えて、さくら体操をやり、椅子に座ってタオルを使っての体操をやりしました。その後、膝痛とか、夜の頻尿について療法士さんに質問をしていただきましたけど、お医者さんではないけれど、自分の知っていることをとということで話をさせていただきました。このように高齢者一人一人はみんな健康のことを考えて、いろいろ工夫をしているんですけど、なかなか食事についてみんなで一緒にという機会が少なく、配食サービスを受けても、お弁当をもらって、それをうちへ持って帰って1人で食べるのでは、やっぱりおいしくない、食欲も沸かないと。やはりみんな冷蔵庫にしまっちゃったりする。そうすると、1食抜いたりとか、次の日食べようと思ったけど、それもやめたということになってしまう、食事からの健康ということがなかなか考えづらい。それを何とかしなければというふうに思ったんですけど、社協のほうでも年に1回、例えば緑センターに集まってもらって、食事の会をしたりはしているんですけど、ほとんど80%は女性で、男性1人の人がなかなか集まりにくい。そういうことをどういうふうに考えていったらいいのかというのが、高齢者の健康については高齢者の医療補助にも関わってくることなので、何かの機会によく検討して、例えば自分のうちの近いところで、お昼にあそこに行くと、みんなが食事しているから一緒に食事できるよとい

うようなところができたらいいんじゃないかなというふうには思いました。これからいろいろ検討できる場所があればというふうに思います。

○山岸会長 ありがとうございます。

井上委員のお話で質問を行いたいところなのですが、今ほど長谷川委員、いらっしゃったので、今回から委員が変わっておりますので、自己紹介を実は初めにさせていただきましたので、よろしくお願いいたします。

○長谷川委員 遅れてしまって申し訳ございませんでした。小金井市第二中学校で学校給食を担当しております栄養士の長谷川と申します。いろいろな世代の食育の状況を聞けて、またそれを学校栄養士のほうにフィードバックできる機会として貴重な会議だと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、今の井上委員の高齢者の孤食について、どなたか質問ですとか御意見ございましたらお願いできますでしょうか。お願いします。

○牧野委員 先ほどのお話の中に認知症カフェとありましたけど、その認知症カフェというのは、認知症カフェという名前のカフェなんですか。

○井上委員 認知症カフェというのは、この話とは全然別の集まりですけど、私も認知症のリーダーにはなっているんですけど、今、認知症は問題になってカフェはあちこちで開催されておまして地域にあって、そこで認知症カフェの委員の人たちが場所を借りて、みんなでそこでお茶を飲んだり、話をしたりということをやっているんですけど、そのカフェには介護していたりとか、その家族とか、家族も相当大変なんです。私も聞いてびっくりしてしまったんですけど、忘れてしまうから、やっぱり何がなくなって、誰が取って行っちゃったとか、そういうことで電話がかかってきて、1時間でも2時間でも話して相手しなくてはならないとか、そういうのはこれといった解決策は出ないんですけど、話すことで少し気が軽くなってお帰りになるので、やっぱり大きく意味のあることではないかなと思いますけど、いろんなところで今やっていますので。

○牧野委員 分かりました。ありがとうございます。

○山岸会長 ありがとうございます。

認知症の方がというより、認知症をケアされている方々のコミュニティー。

○井上委員 も含めて。

○山岸会長 含めてということで。

○井上委員 ちょっと私も認知症が始まったかしらと思う方でも、いいんですけど。

○山岸会長 ありがとうございます。

ほかの委員の方で質問等ございませんでしょうか。よろしくお願いします。

○太田委員 孤食の問題なんですけど、女性はやっぱり集うかなと思うんですが、男性は、そういう場が提供されたら来ますかね。

○井上委員 なかなか行きにくい、参加しにくいようなんですけど、それでも声をかけて、近所でやっていたら、あそこでやっているから行ってみたらとか周りの人が言っていたら、やっぱり参加することも、おしゃべりができればまた楽しいかな、仲間ができれば、また次回に来ようかなというふうになるというふうにはいるんですけど。

○太田委員 自分の近い将来の問題なので、何とかそういうシステムができるといいなとは思んですけど。

○井上委員 思いますけど、場所とお金そしてお世話をする人材が問題になると。

○山岸会長 よろしくお願ひいたします。

○雀部委員 男性がやっぱりそういう集まりに参加しにくいという話は結構どこでもあって、その一つの解決策として、ほかの市とかで取り組んでいたりするのに、例えば男性は共通の趣味を持つ方と集まったりするので、例えば囲碁をやったりとか将棋をやったりの後に会食を持ってくるということで共通の話ができるので、女性のように、単体で来てわっとおしゃべりはできないタイプの方が多いので、その流れで会食とかということ促すことをやっているところもあると聞いたりしたことがあります。

○井上委員 それは、今回結論を出してということではできないと思いますので、また機会を設けて検討していけたらと思います。

○山岸会長 ありがとうございます。

高齢者の方のフレイルという、虚弱を予防するために歩きましょう、しっかり食べましょうとよく言うけど、意外と社会的フレイルというか、孤立してしまうフレイルというのも、心理的フレイルとか、身体的だけではない、体だけではない孤独って、孤独から来る虚弱があると思うので、今、井上委員おっしゃったように、男性の方、女性の方、いかに食事というツールでコミュニティーに参画してもらえるかというようなことも、この会議でも少し意見が交わせたらいいなと思います。ありがとうございます。

○事務局 私も質問させていただいてもいいですか。委員ではないんですけども。会食は、コロナの間は中止されていたかと思うんですけども、今はコロナ前と同じぐらい、社協さんのほうでは……。

○井上委員 ぼちぼち始まったということでしょうか。

○事務局 会食の対象は、独り暮らしの方が対象ということで。

○井上委員 特に……。

○事務局 特に決まりはないということですね。

○井上委員 はい。社協がやっているのは、年に1回しかできないんですけど、独り暮らしの人を対象に声をかけているというふうに言っていましたけど、それでも集まるのは80%女性だと。

○太田委員 20%の男性、勇敢ですね。

○松嶋副会長 今の話で思ったんですけど、小金井市にわくわく都民農園というのができまして、そちらのほうにシニア農園ができていて、そちらに来ていらっしゃる高齢者の男性の方も女性の方もすごく交流されていて、そこでランチも出しているんですけど、収穫祭のイベントを主催したりしてやっているんで、日頃からのコミュニティづくりとか、後期高齢者の孤食と書いてあるんですけど、後期になる前に、若く元気なうちにお友達、趣味、あそこでは農作業ではあるんですけど、先ほど言われたように、囲碁でも何でもコミュニティづくりをして、後期高齢者の孤食にならないように備えるということがすごく大事なことなのかなというふうに感じました。そういう場がもっとできるといいかと思っております。男性の方だと、お酒を飲む会みたいなのも、バーベキューをしてビールを飲んだりするのが楽しみとおっしゃっている方がいたので、そういうような形もいいかなと思います。

○山岸会長 よろしくお願ひします。

○事務局 ちょっと食事とは離れてしまうかもしれないんですけども、健康課でも高齢者いきいき健康教室とかも実施しているんですけど、実際に男女でどちらが多いかという、やっぱり女性の方が多いのは事実です。

○太田委員 人口自体、高齢になると多いですからね、女性のほうが。男、死んじゃっていますから。

○松嶋副会長 女性のほうがお友達になったり、お話をしたりするのが得意かなというのはあるので、男性も……。

○井上委員 早いですね、女性は。

○松嶋副会長 そうですね。

○事務局 あとは栄養講習会で、もうコロナ前なんですけれども、高齢の男性の方の料理教室を1回やったことがあったんです。そのときに参加された方に感想を聞いたら、どうしても女性と一緒に教室だと女性が多くなって、指示されるというか、あれなんですけども、なかなか自分が思ったように動けないけど、男性だけだったら同性の気安さというのがあるので、やりやすかったですという意見などをいただいたこともあります。

○山岸会長 ありがとうございます。

男性、女性関係なくと言いますが、みんなが参加しやすいような、そういった取組もまたお話しし

ていただければと思います。ありがとうございます。

それでは、次に移りたいと思います。次は、その他というふうになりますけれども、健康課長、よろしく願いいたします。

○事務局 令和6年4月に予定されている組織改正について、食育の関連にも絡むところなので簡単に説明させていただきます。

令和6年4月施行の改正児童福祉法によって、市区町村に母子保健機能と児童福祉機能を統合して、全ての妊産婦、子育て世代、子供に対して一体的に相談支援を行うこども家庭センターというものの設置を努めることとされました。その法の趣旨としては、児童福祉部門と母子保健部門の組織を一体的に運営して、虐待予防と妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実、強化を図るものというふうになってございます。それに伴いまして、小金井市でも令和6年4月に、こども家庭センターというものを設置する予定となっております。現在、健康課で実施している乳幼児や妊婦を対象とした事業、母子関連の事業になりますが、そちらの事業がこども家庭センターのほうに移管するという、こども家庭センターが実施する予定となります。こちらの食育推進計画に記載している、具体的に言うと33ページから41ページにいろんな事業が掲載されているんですけども、母子関連事業ということで、先ほど申し上げた乳幼児とか妊婦を対象とした事業なんですけど、そちらがこども家庭センターのほうに移る予定となっておりますので、詳細についてまだ決定はしていませんので、決定しましたら、別途、また食育推進会議のほうでも報告させていただきたいと思います。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

今のお話について、どなたか委員さんのほうから御質問等ありますでしょうか。大丈夫でしょうか。引き続き、各課横断しながら食育を進めていければと思っております。

以上で議題のほうは終了となります。

事務局のほうから何かございますでしょうか。

○事務局 次回につきましては、5月の中旬から下旬の水曜日の午後2時からを予定しております。また、今回の会議録案ができましたら、前回同様、メールにてお送りいたしますので御確認をお願いしたいと思います。

それからもう一つ、ちょっと時間があるので、もし今日来ている方々の中で、次の会議は早くても5月の終わりぐらいになってしまうと思うので、何か食育のイベントがこれからあるので周知したいという方がいらっしゃったら、せっかくの機会なのでお願いしたいと思うんですけども。

○山岸会長 今、事務局のほうからありましたけれども、どうでしょうか。4月、5月になりますけれ

ども。これからですかね。また次回のときに、そういったイベント等があればお聞かせいただければと思います。

そうしましたら、今日は新しい委員の方も含めまして食育推進会議を進めていくことができました。次回からもこの委員でまた活発なお話し合い、進めていけたらと思っております。

それでは、以上をもちまして令和5年度第4回小金井市食育推進会議を終了いたします。皆様、本日はお疲れでございました。

— 了 —